

デバイス文書

IEEE488.2規格に基づく「規格の実行方法に関する情報」

項目		内容
1	IEEE488.1インタフェース・ファンクションの機能	「GP-IBの仕様」参照
2	アドレスを0～30以外に設定した場合の動作説明	設定できません。
3	ユーザが初期設定したアドレスの変更の認識	アドレスの変更は、変更した時点で認識されます。
4	電源投入時における機器設定の説明	ステータス情報はクリアされます。他はバックアップされます。 ただし、ヘッダは初期化されます。
5	メッセージ交換オプションの記述	<p>・入力バッファの容量と動作 「出力キューと入力バッファ」参照 複数の応答メッセージ単位を返すクエリ</p> <p>:LEVel:PULSe? 2 :LEVel:VOLTAge:ADJust:MANual? *2 :REFerence:DATA? *2 :AREA:LIMit? *2 :AREA:LIMit:ENABle? *2 :AREA:SCOPE? 2 :DIFF:SCOPE? 2 :FLUTter:SCOPE? 2 :LAPLacian:SCOPE? 2 :LCRC:SCOPE? 2 :LCRC:AREA? 8 :SCOPE:AUTO:LCRC:LIMit:ADDition? 2 :FETCh:RESult? *3 :FETCh:WAVEform? *1 :FETCh:PULSe? *3 :FETCh:PULSe:VALid? *3 :FETCh:PULSe:RESult? *3 :FETCh:RISetime? *1*2 :FETCh:NODE? *1 :FETCh? *1 :BDV:LEVel:VOLTAge? 3 :BDV:LEVel:PULSe? 2 :BDV:FETCh:RESult? *3 :BDV:FETCh:WAVEform? *1 :BDV:FETCh:STEP? *2 :BDV:FETCh:STEP:VALid? 6 :BDV:FETCh:RISetime? *1*2 :BDV:FETCh:NODE? *1 :BDV:FETCh? *1 :RPDiv:LEVel:VOLTAge? 3 :RPDiv:FETCh? 15 :RPDiv:FETCh:VALid? 7 :RPDiv:FETCh:WAVEform? *1 :RPDiv:FETCh:STEP? *1 :RPDiv:FETCh:STEP:VALid? 3 :RPDiv:FETCh:RISetime? *1*2 :RPDiv:FETCh:NODE? *1 :MEMory:FETCh? *1*2 :MEMory:FETCh:HEADer? *1*2 :DISPlay:RANGe:LC? 2 :DISPlay:RANGe:RC? 2 :SYSTem:DATE? 3 :SYSTem:TIME? 3 :FILE:INFormation? 5</p> <p>*1: 引数により異なります。 *2: 設定により異なります。 *3: 放電検出ソフトの有無により異なります。 ・文法チェックをしたときに応答を作成するクエリすべてのクエリは、 構文チェックをすると、応答を作成します。 読まれた場合に、応答を作成するクエリの有無 コントローラが読み込む時点で、応答を作成するクエリはありません。 ・カップリングされるコマンドの有無 該当するコマンドはありません。</p>
6	機器専用のコマンドを構成する場合に用いる機能的要素の一覧、複合コマンド・プログラム・ヘッダを使用するのかについての説明	<p>以下を使用します。</p> <p>・プログラム・メッセージ ・プログラム・メッセージ・ターミネータ ・プログラム・メッセージ単位 ・プログラム・メッセージ単位セパレータ ・コマンド・メッセージ単位 ・クエリ・メッセージ単位・コマンド・プログラム・ヘッダ ・クエリ・プログラム・ヘッダ ・プログラム・データ ・文字プログラム・データ ・10進数値プログラム・データ ・複合コマンド・プログラム・ヘッダ</p>

項目	内容
7	ブロック・データに関するバッファ容量限界の説明
8	ブロック・データは使用していません。
8	〈表現〉内に使用されるプログラム・データ要素の一覧、およびサブ表現の最大ネスティングの程度 (機器が〈表現〉に与える構文規制も含む)
9	サブ表現は使用していません。使用しているプログラム・データ要素は、文字プログラム・データと10進数値プログラム・データです。
9	各クエリに対する応答構文についての説明
10	「通信コマンド」参照
10	応答メッセージ要素の原則に従わない機器間 メッセージ送信渋滞についての説明
11	機器対機器のメッセージはありません。
11	ブロック・データの応答容量の説明
12	ブロック・データの応答はありません。
12	使用している共通コマンドとクエリの一覧
13	「通信コマンド」参照
13	校正クエリが問題なく完了した後の機器状態の説明
14	*CAL?コマンドは使用していません。
14	*DDTコマンドの有無
15	*DDTコマンドは使用していません。
15	マクロ・コマンドの有無
16	マクロは使用していません。
16	識別に関するクエリ、*IDN?クエリに対する応答の説明
17	「*IDN?」参照
17	*PUDコマンド、*PUD?クエリが実行される場合による保護 されたユーザのデータ保存領域の容量
18	*PUDコマンド、*PUD?クエリは使用していません。 また、ユーザ・データ格納エリアはありません。
18	*RDTコマンド、*RDT?クエリを使用している場合の資源の
19	*RDTコマンド、*RDT?クエリは使用していません。
19	*RST、*LRN?、*RCL?、および*SAVの影響を受ける状態 についての説明
20	*LRN?、*RCL?、*SAVは使用していません。 *RSTコマンドは、本器を初期状態に戻します。 「*RST」参照
20	*TST?クエリにより実行される自己試験の範囲についての 説明
21	「*TST?」参照
21	機器のステータス報告で使用する、ステータス・データの 追加構造の説明
22	「イベント・レジスタ」参照
22	各コマンドが、オーバーラップまたはシーケンシャルコマン ドであるかについての説明
23	すべてのコマンドが、シーケンシャルコマンドです。
23	各コマンドに対する応答として、操作終了メッセージを生成 する時点で要求される機能に関する基準の説明
	操作終了は、コマンドの解析時に生成されます。